

## 地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和5年（2023年）11月21日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名） 杣 晴薫

## 1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 I 安全で快適なまちづくり  【具体的な取り組み】 1 交通事故防止と安全対策の充実 （4）生活道路や歩道の整備を図る ③県道西宮宝塚線の歩道を整備する  4 生活の利便性の追求と環境改善 （4）南北の交通網を整備する ①亀井町、伊子志を南北に通過する 武庫川通線（都市計画道路）の整備を急ぎ、 交通を円滑にする
取組内容の関係課	阪神北県民局 宝塚土木事務所 道路第2課 都市安全部 建設室 道路政策課

## 2 対話の状況

（1）実施概要
ア 日時： 令和5年（2023年）11月2日 10：30～11：50
イ 場所： 宝塚市役所 第2庁舎 会議室A
ウ 出席者： 以下のとおり ＜まちづくり協議会＞ 宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 ●  ＜関係課＞ 松田課長補佐、吉村職員（宝塚土木事務所道路第2課） 早瀬道路政策課長、安井係長（道路政策課）  ＜協働の取組推進担当次長＞ 戸井室長

## (2) 確認できたこと

### ア 県道西宮宝塚線について

#### (ア) 歩道環境の現状と課題

御所の前町や高松町は歩道が狭く、自転車の通行もあり危険である。御所の前町1番地から御所前公園までの県道東側の歩道は特に狭い。地元は、過去に県に対し「県道東側の歩道は住宅に面しているためセットバックは困難であるが、反対側の歩道は広いいため、車道のセンターラインをずらすことで対応できるのではないか」と提案し、県道東側の歩道整備を要望している。県住の建て直しの際の説明会でも、県の担当者にこのことを話し、今後対応できるように県住の敷地内の整備が行なわれている。

#### (イ) 歩道整備の状況

県は社会基盤整備プログラムを作成しており、令和10年までの整備計画はある程度決まっている。現在宝塚市域では、市役所前交差点から末広小学校に向けた北方面の整備を行っている。要望箇所は整備計画に入っていないため、近年での対応は難しい。令和10年以降の計画に入れるか検討はできるが、道路の両側に歩道があるのは恵まれている方なので、優先順位は低い見込み。

#### (ウ) 今後について

まちづくり協議会として以前から繰り返し要望しているにも関わらず、申し送り等がきちんとなされていないように感じる。今一度、過去に県が要望を受けた記録や県住建て替えの際の経緯等を確認・整理したうえで、説明及び報告を求める。

### イ 都市計画道路武庫川通線について

#### (ア) 現状と課題

高松町はほぼ開通しているが、亀井町や高司、伊子志部分が進んでいない。今後の計画と、実現可能性について確認したい。

#### (イ) 進捗状況

市は都市計画整備プログラムを作成し、令和10年までの整備順を定め順番に整備を進めている。現在は、荒地西山線と競馬場高丸線等を整備している。まだ整備されていない道路があることは承知しているが、財政難やマンパワーの問題もあり、プログラムに位置づけない路線の着手は厳しい状況であり、武庫川通線は優先整備路線に入っていないため、現時点での整備予定はない。

#### (ウ) 今後について

時代の状況によって、都市計画道路の見直しを検討することはあるが、武庫川通線については現時点で廃止の考えはない。亀井町地域の工場跡地やNTT寮の跡地を道路用地として確保することは、費用や必要性を考慮し、都市計画道路事業に着手してからの対応となる。